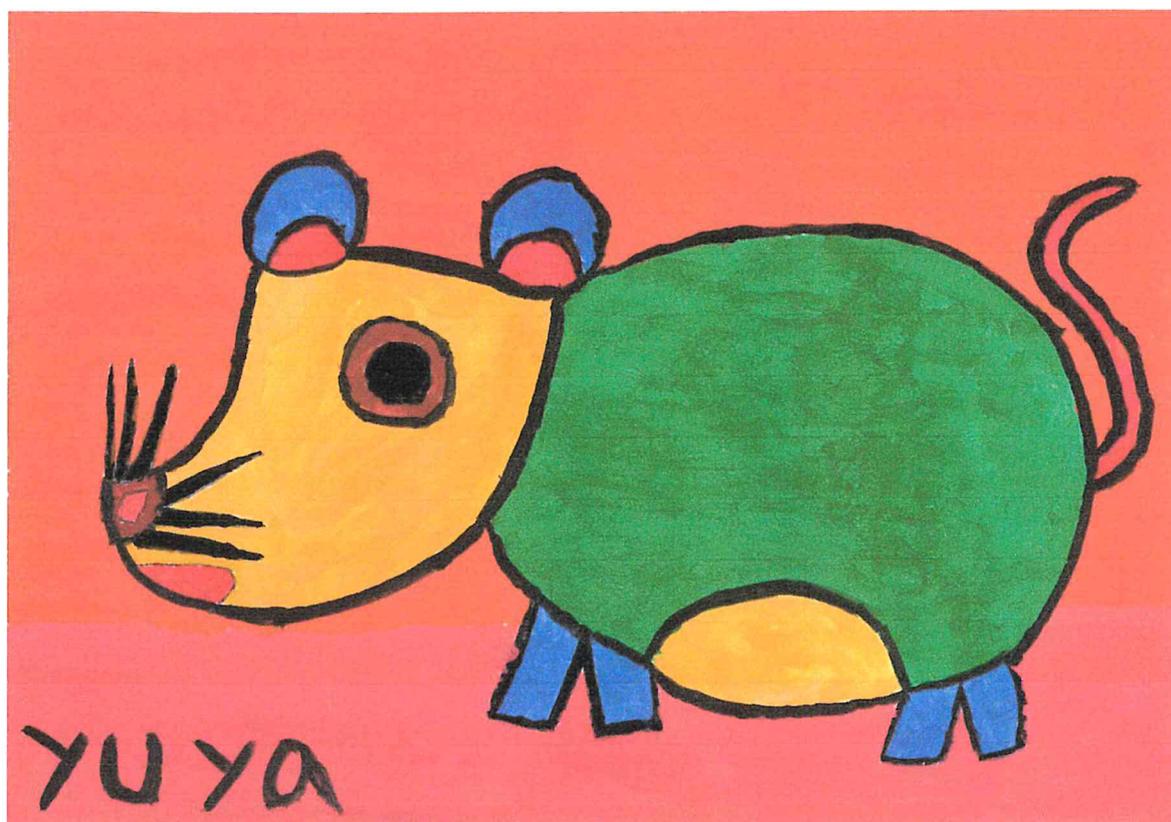


2022

# 環境経営レポート

Environmental Management Report



タイトル:「デブネズミ」

作者:yuya

作者のコメント: 大きなネズミをいろんな色で描きました

提供: 夢のかけら舎

2023年6月1日発行

第19版:2022年3月~2023年2月実績



(株)グリーンロジスティクス  
e-style camp

ホームページ <http://www.greenlogistics.co.jp>





1. 経営理念と環境経営方針 .....	1
2. SDG'sの取組み .....	2
3. 事業概要 I ~ IV .....	3~6
4. 環境経営マネジメントシステム .....	7
5. 環境経営目標と実績及び評価 .....	8
6. 環境経営計画の取組結果とその評価及び .. 次年度の取組内容 I・II	9~10
7. 教育・研修実施計画及び実施記録 .....	11
8. 地域環境コミュニケーション I ~ IV .....	12~15
9. 環境関連法規の遵守状況 I・II .....	16
10. 代表者による全体評価と見直し .....	17
11. これまでの取組み I ~ III .....	18~20



# 経営理念と環境経営方針

## 経営理念

### 1.地域環境コミュニケーションの形成

廃棄物処理事業活動を通じて地域社会に豊かな環境コミュニケーションを形成します。  
これにより地域社会の一員として地域のあらゆる要望に対して、私達の企業資源の全てを活用して「私達らしく」応えられる企業であり続けます。

### 2.学習型企业への発展

全社員が主役の会社を目指します。  
社員の創意工夫や自主性が十分に発揮できる社風を創り、働く環境の中から互いに学びあい尊重しあい、活力に満ちた心豊かな人間集団としての学習型企业を目指します。

## 環境経営方針

### 基本理念

株式会社グリーンロジスティクスは、廃棄物の中間処理・収集運搬業務を通じて、人と環境が調和し、共存できる循環型社会への構築に向けての地域環境保全に努めます。

### 行動指針

1.環境負荷の低減を目指し、重要項目として下記の項目に重点を置き、計画的・継続的・効果的なCO2削減活動を行います。

- ① 収集運搬車両及び重機等による燃料使用量の削減
- ② 産業廃棄物リサイクル率の向上
- ③ 水光熱使用量の削減
- ④ 再生可能エネルギーの生産・供給
- ⑤ グリーン商品の積極的購入及び資源の有効活用

2.全社員が、地域社会における役割と責任を認識し、地域融和活動に努めます。

- ① 第一に私達は、地域社会の一員であることを自覚します。そして、地域に対して「役立ちたい」というもっとも高い価値観を共有します。
- ② 地域の企業・環境団体や行政との連携を深く図り、地域が参加できる環境保全活動を企画・実践します。そして、知識・情報を共有し環境ネットワークづくりに努め、地域社会にも広く発信します。

3.環境関連法規・条例・要綱及び全ての要求事項を遵守します。

4.あらゆる人に環境レポートを公開し、地域環境コミュニケーションの形成のための協力と理解を求めます。

～この環境方針を基底に、環境経営システムを確立し、継続的に運用・改善を行います～

制定日 2005年5月1日  
最終改訂日 2018年4月1日  
株式会社 グリーンロジスティクス  
代表取締役 岩崎 浩



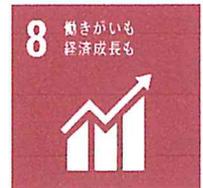
## 【熊本県 SDGs登録制度】

### 登録証と取組み項目



©2010熊本県くまモン  
第1期熊本県 SDGs  
登録事業者として  
登録しました。

私たちは以下の項目を重点項目として  
SDGsに取り組んでいます。



## 【取組み事項の決定】



- 5. ジェンダー平等を実現しよう**  
5-1 職場内外におけるジェンダー平等。  
5-5 職場内外の意思決定において、女性の参画及び平等なリーダーシップの機会を確保する。



- 7. エネルギーをみんなに そしてクリーンに**  
7-2 再生可能エネルギーの割合を大幅に拡大させる。  
7-a 化石燃料の使用量の削減。



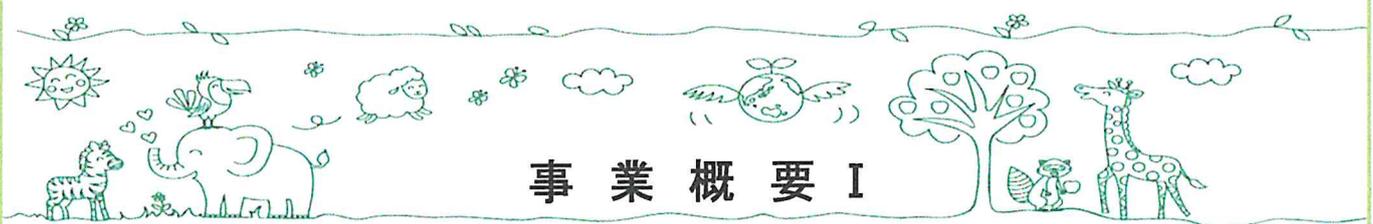
- 8. 働きがいも経済成長も**  
8-5 老若男女、障がい者の雇用の確保及び働きがいのある業務・環境の提供。  
8-8 すべての労働者に安心安全な労働環境の促進



- 12. つくる責任 つかう責任**  
12-4 廃棄物による人への健康被害や環境への悪影響を最小限化するため、廃棄物の大気・水・土壌への放出を削減する。  
12-5 廃棄物の発生防止・削減・再生利用。



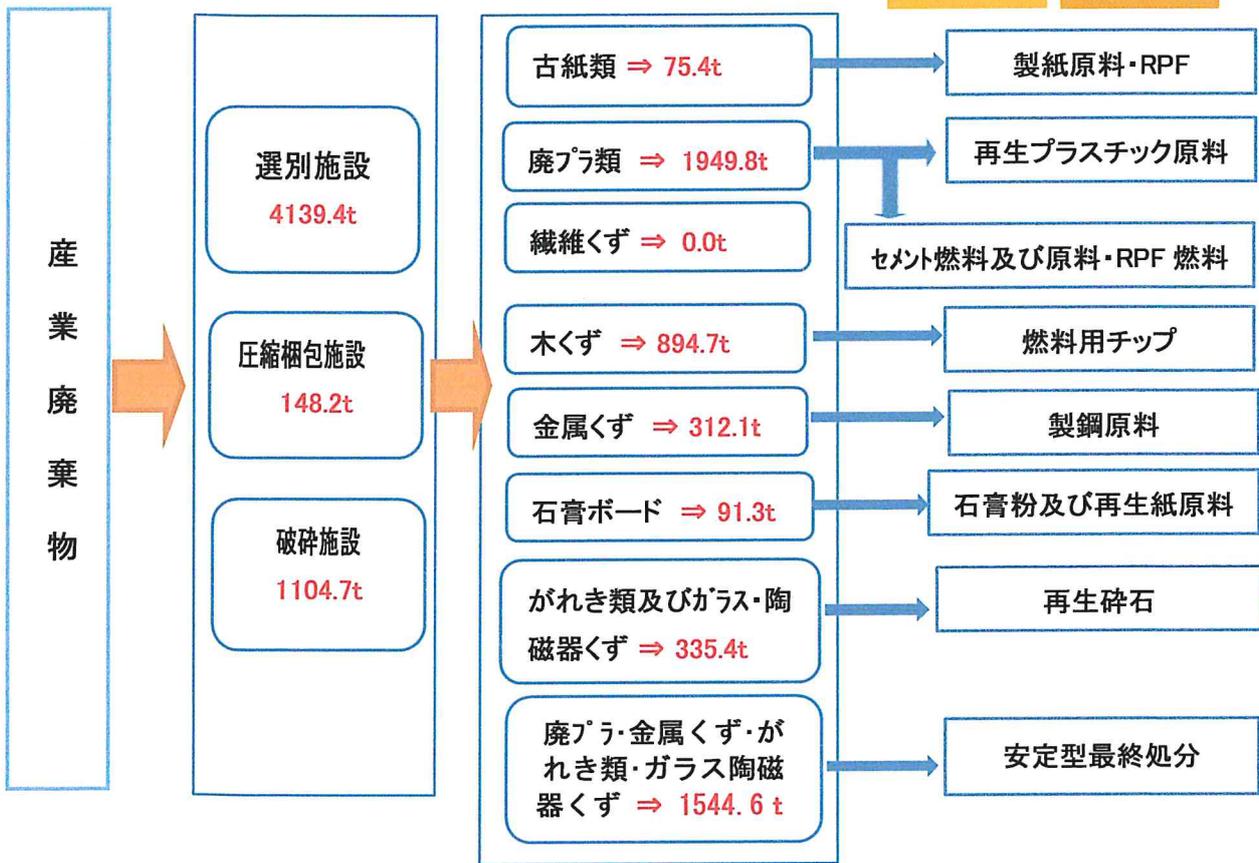
- 17. パートナーシップで目標を達成しよう**  
17-17 さまざまなパートナーシップの経験や資源を基にした公的・官民・市民・社会のパートナーシップを推進する。



# 事業概要 I

事業所名	株式会社 グリーンロジスティクス
代表者名	岩崎 浩
所在地	管理事務所／熊本県菊池郡大津町杉水2506番地 圧縮・梱包及び破碎・選別棟／熊本県菊池郡大津町杉水2509番地1
資本金	1,000万円
設立	1992（平成4）年12月21日
事業内容	一般廃棄物・産業廃棄物収集運搬業 産業廃棄物中間処理業（選別・破碎/圧縮・梱包） 有価物（古紙・再生樹脂・鉄・非鉄スクラップ）の回収・加工・販売

## 中間処理施設の処理フローとマテリアルバランス



収集運搬量⇒6,788.9
受入量⇒5,392.3t
有価売却及び処理委託⇒5,203.3t



## 事業概要 II

### ◆許可内容

NO	許可の種類	自治体	許可番号	許可年月日	有効年月日
1	一般廃棄物収集運搬業	大津町	第 10 号	2022.4.1	2024.3.31
2		菊池市	第 2309 号	2021.4.1	2025.3.31
3		合志市	第 15 号	2021.4.1	2025.3.31
4		菊陽町	第 555 号	2022.4.1	2024.3.31
5		益城町	第 20-8 号	2022.4.1	2024.3.31
6		西原村	第 4294 号	2021.4.1	2025.3.31
7	一般廃棄物処分業	大津町	第 64 号	2021.4.1	2025.3.31
8	産業廃棄物収集運搬業 (積替え及び保管行為含)	熊本県	第 04310008464 号	2022.10.11	2029.9.8
9	産業廃棄物処分業		第 04320008464 号	2019.5.7	2023.9.29
10	産業廃棄物収集運搬業	鹿児島県	第 04603008464 号	2021.8.12	2026.8.11

※2013.5.16 熊本県より「優良産廃処理業者」に認定

※2019.1.11 事業範囲の変更許可(積み替え保管の追加)



### ◆事業全体計画

#### ◇産業廃棄物処分業(熊本県)

排出事業所から排出された産業廃棄物を搬入し、計量後、処理前保管場所にて保管する。その後、機械選別ライン・破砕機・圧縮梱包機にて、それぞれ処理を行う。その後は、処理後保管場所に保管し有償売却、又は処理委託する。

#### ◇産業廃棄物収集運搬業(熊本県)

排出事業者から収集運搬の委託を受けた産業廃棄物を自社中間処理施設及び他の処理施設に運搬する。

### ◆処理計画量

#### ◇産業廃棄物処分業(熊本県)

処分する産業廃棄物の種類等(選別・破砕・圧縮梱包)

廃プラスチック類 60t/月・木くず 50t/月・金属くず 6t/月・がれき類 20t/月・紙くず 2t/月・繊維くず 0.5t/月・ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず 20t/月・ゴムくず 0.1t/月・混合廃棄物 150t/月

#### ◇産業廃棄物収集運搬業(熊本県)

収集運搬する産業廃棄物の種類等

廃プラスチック類・木くず・金属くず・紙くず・繊維くず・ゴムくず・がれき類・ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず⇒960t/月  
がれき類⇒50t/月・動植物性残渣⇒0.6t/月・燃え殻・ばいじん⇒1t/月  
汚泥 2t/月・水銀使用製品産業廃棄物 0.6t/月・石綿含有産業廃棄物 5t/月

# 事業概要Ⅲ



## ◆施設の種類と処理する廃棄物の種類、処理能力他

	選別施設	破碎施設	圧縮梱包施設①	圧縮梱包施設②	積替保管施設
品目	廃プラスチック類 木くず 金属くず がれき類 紙くず 繊維くず ガラスくず ゴムくず コンクリートくず及び陶磁器くず	廃プラスチック類	廃プラスチック類 金属くず 紙くず 繊維くず	廃プラスチック類 金属くず 紙くず	①石綿含有産業廃棄物 ・廃プラスチック類 ・ガラスくず ・コンクリートくず及び陶磁器くず ・がれき類 ②水銀使用製品産業廃棄物 ・廃プラスチック類 ・金属くず ・ガラスくず ・コンクリートくず及び陶磁器くず ・汚泥
処理能力	15t/日(8h)	4.7t/日(8h)	紙くず 63.4t/日(8h) 繊維くず 44.2t/日(8h)	紙くず 2.9t/日(8h) 金属くず 10.8t/日(8h) 廃プラスチック類 3.4t/日(8h)	保管上限・面積・高さ ①石綿含産業有廃棄物 保管上限/6.1 m <sup>3</sup> 面積/6.9 m <sup>2</sup> 高さ/0.88m ②水銀使用製品産業廃棄物 保管上限/0.76 m <sup>3</sup> 面積/1.4 m <sup>2</sup> 高さ/0.6m
処理方式	手選別及び機械選別ライン	破碎機	圧縮梱包機	圧縮梱包機	





## 事業概要Ⅳ

### ◆施設等の状況

#### ◇運搬車両の種類と台数

8tクラム車 1台／大型アームロール車 1台／4tアームロール車 2台

3tユニック車 1台／4tユニック車 1台／2tアームロール車 1台

4tパッカー車8台／2tパッカー車 1台／軽トラック 1台

合計 17台

#### 【低排出ガス車の導入状況】

◇平成12年基準適合／排出ガス 25%低減車	1台	5.9%
◇平成12年基準適合／排出ガス 75%低減車	1台	5.9%
◇平成12年基準適合／排出ガス 85%低減車	1台	5.9%
◇平成17年基準適合／排出ガス 10%低減車	3台	17.6%
◇平成21年規制適合車	1台	5.9%
◇平成22年規制適合／排出ガス 10%低減車	6台	35.3%

#### 【低燃費車の導入状況】

◇平成27年度燃費基準達成車	10台	52.9%
----------------	-----	-------

### ◆事業の規模

活動規模		単位	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
売上高		百万円	430	466	403	391	430	492	505
廃棄物 取扱量 (有価物含)	収集運搬	t	12,748	12,240	12,240	11,549	11,031	12,216	12,575
	中間処理	t	7,635	7,695	7,497	7,429	7,351	8,434	8,660
従業員数		人/年	35	36	32	30	32	33	36
敷地面積		m <sup>2</sup>	4,999	6,342	6,342	6,342	6,342	6,342	6,342
車両台数		台	17	17	16	16	17	17	17

※2017年度 既存事業地の拡張

### ◆会計年度及び環境年度

毎年3月1日から翌年2月末日

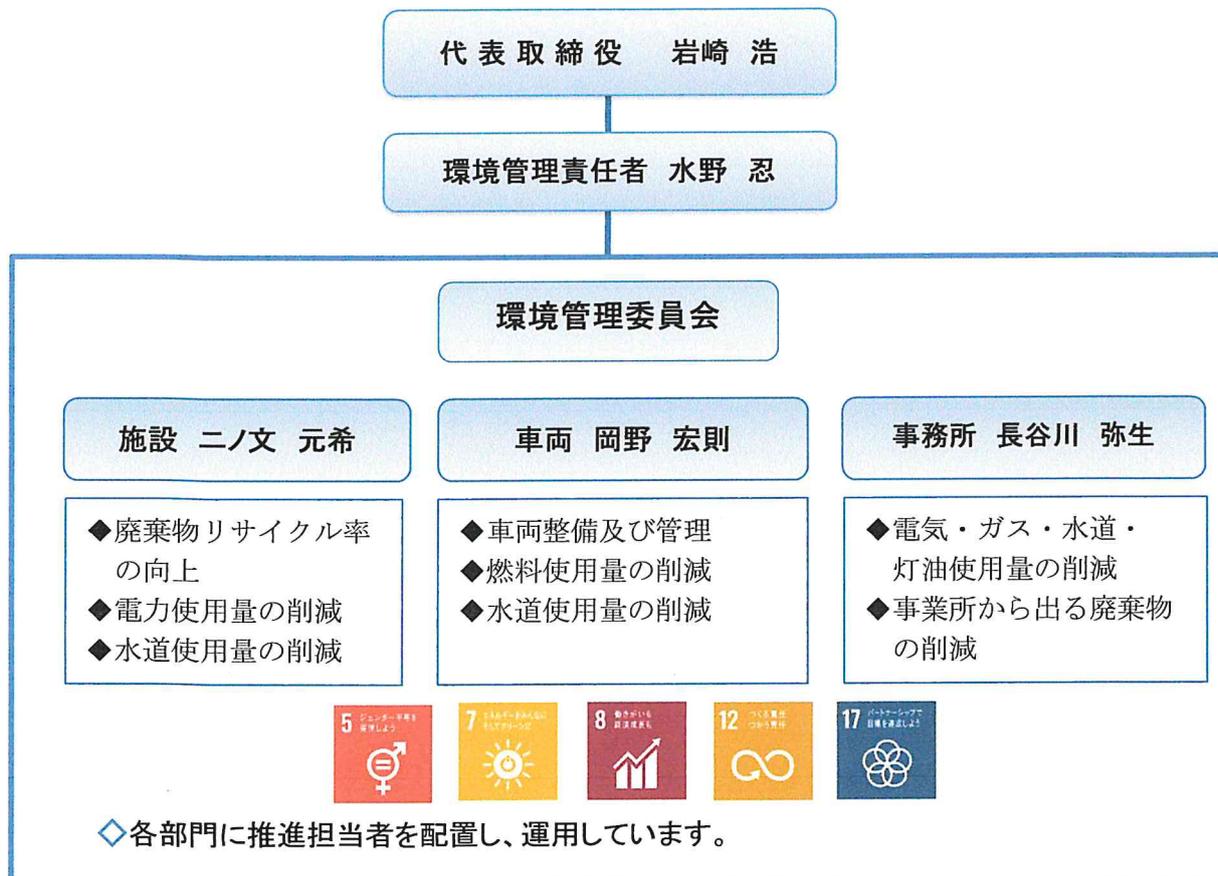
### ◆情報公開

◇(株)グリーンロジスティクス ホームページ ⇒ [http:// greenlogistics.co.jp/](http://greenlogistics.co.jp/)

◇産廃情報ネット情報開示システム ⇒ <http://www2.sanpainet.or.jp/zyohou/>

# 環境経営マネジメントシステム

## エコアクション 21 組織図



●次年度(2023 年度)より環境管理責任者が変更になります。

新環境管理責任者 岡野 宏則

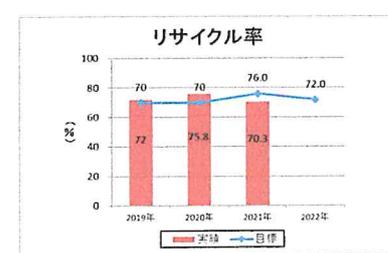
☆環境管理責任者の連絡先 (096)293-0743

	主な役割と権限
代表取締役	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営方針の策定とE A21 環境マネジメントシステムの統括。</li> <li>・環境管理責任者の任命。</li> <li>・全体の取組み状況や評価及び見直しの実施・指示。</li> <li>・環境経営レポート発刊の承認。</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・代表取締役より委任を受け環境経営システムの構築・運用・維持に関する責任と権限。</li> <li>・環境経営計画の策定及び進捗管理を代表取締役へ報告。</li> <li>・環境関連法規の取りまとめと、活動の評価及び環境経営レポートの作成と公表。</li> </ul>
環境管理委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境管理責任者と連携し環境経営システムの構築・運用・維持の補佐。</li> <li>・環境活動における決定事項を社員全員への周知及び環境活動記録の取りまとめと報告。</li> </ul>

## 環境経営目標と実績及び評価

環境目標	単位	2020年度 実績	2021年度 実績	2022年度 目標	2022年度 実績	評価	2023年度 目標	2024年度 目標
二酸化炭素排出量	Kg-CO2	328,821	431,567	428,000	328,051	○	328,000	328,000
	kg-CO <sub>2</sub> /百万円	766	880	850	649	○	765	760
購入電力量	kw h	9,837	8,901	8,900	9,476	×	9,300	9,250
購入動力量		49,309	59,364	59,000	60,099	×	59,000	58,900
太陽光発電量	kw h	92,663	88,169	85,000	88,701	○	85,000	85,000
化石燃料	1) 灯油	108	342	300	396	×	340	330
	2) ガソリン	2,113	2,459	2,400	2,878	×	2,500	2,400
	3) 軽油	114,050	150,746	150,000	111,404	○	111,000	110,000
	(内災害車両)	(13,819)	—	—	—	—	—	—
	4) 液化石油ガス (LPG)	kg	66	57	55	45	○	44
水資源使用量	m <sup>3</sup>	855	833	820	839	×	820	815
事業所からの廃棄物排出量	kg/人	9.0	9.0	9.0	8.9	○	8.8	8.7
リサイクル率の向上	%	71.8	75.8	76.0	70.3	×	72.0	72.0

- 二酸化炭素排出量については、収集運搬車両及び重機の稼働による軽油の割合が高く、業務の量により変動するため、売上百万円当たりの数値で環境目標を設定している。
- 購入電力の排出係数（調整後排出係数）については、2022年度実績の新出光（0.458kg-CO<sub>2</sub>/kwh）及び九州電力（0.433kg-CO<sub>2</sub>/kwh）を使用した。
- 購入電力との比較ができるよう太陽光発電量を記載した。
- 太陽光発電量については、発電シュミレーションにより目標(85,000kwh以上)を設定した。
- 当社の業務は、廃棄物の収集運搬及び中間処理業なので、中間処理業で取扱う廃棄物に係るリサイクル率(76%以上)で環境目標を設定した。
- プラスチック資源循環促進法の施行により、廃プラスチックの収集運搬量・中間処理量の更なる増加が見込まれるため、燃料及び水光熱使用量の目標値を22年度の実績プラスαで見直す。





環境経営計画の取組み結果とその評価、次年度の取組み内容 I

○二酸化炭素排出量の削減		
取組み項目	取組み内容	評価
電気・電力 使用量の削減	【事務所】 ①未使用部屋の電気・パソコン等のこまめな電源の入切の徹底する。	○
	②エアコンの温度設定を、夏季は一定にし、冬季はヒーターの使用を徹底し電気使用量の削減に努める。	○
	【評価と次年度の取組み】 事務所の電力使用量が目標達成にいたらなかった。事務所棟ロビーにエアコンを新たに設置したこと、夏場の気温が高かったことが原因と考えられる。 次年度は、事務所の増設予定もあり使用するエアコンの台数も増えるため設定温度や使い方の工夫、家電のメンテナンスに努める。また長く使用している家電の買い替えも検討していく。	
	【圧縮・破碎・選別施設】 ①負荷を減らし効率的な稼働に努めるため、破碎機の刃の入れ替えをする。	○
	【評価と次年度の取組み】 工場内で使用する電力についても目標達成にいたらなかった。効率的な稼働には努めているが、収集運搬量及び中間処理量の増加、特に廃プラスチックの破碎処理が増えたこととともない稼働時間も長くなった。 次年度は、新しい機械の導入も予定されており必然的に電力消費量も増えるくるため、作業の効率化に加え目標値の見直しをはかる。	
	【電力使用量と太陽光発電量の比較及び取組み】 今年度電力使用量 69,575kwhに対して、太陽光発電量 88,701kwh。 メーカーで発電シュミレーションをしたところ、月平均の発電量が88,300kwhであることから、次年度以降の目標設定を変更した。今後、発電量が月平均85,000kwhを下回った場合にパネルの洗浄等のメンテナンスを検討していく。	
灯油・ガス 使用量の削減	①給湯室のガスコンロは、最小限度の使用に努める。	○
	②ヒーターのフィルター清掃（冬場は、1回/月）	○
	③ヒーター使用方の徹底	×
	【評価と次年度の取組み】 冬場に寒暖差の激しい日が例年より長く続いたため、ヒーターの灯油使用量が増加した。次年度はヒーターの使用方法やウォームビズなどで工夫して灯油使用の抑制に努める。	
軽油・ ガソリン 使用量の削減	①エコドライブ講習会の実施	○
	②タイヤ点検講習会の実施とタイヤ空気圧チェックの実施	○
	③重機運転・メンテナンス研修会の実施	○
	④計量器による積載量のチェックを行うことにより、過積載をなくし燃料使用量削減の向上に努める。	○
	⑤処理委託先及び有価物の売却先への輸送を4t車から大型車両に変更することで、燃料使用量を削減する。	○
	⑥車両ごとに月の燃費を算出し、運転者に対する講習会の企画や車両のメンテナンスや買換えの目安にする。	×
	【評価と次年度の取組み】 災害廃棄物を鹿児島へ運ぶ大型車の便が終了したため、軽油の使用料が大幅に削減できた。しかしながら、営業で使用する車両が増えたため、ガソリンの使用量が増加した。 次年度は軽油・ガソリンの目標値を22年度の実績で見直し、エコドライブに努める。	

\*評価『○』の項目に関しては、次年度も引き続き取り組みを継続する。



環境経営計画の取組み結果とその評価、次年度の取組み内容Ⅱ

○水使用量の削減		
取組み項目	取組み内容	評価
節水努力	①洗車時は高压洗浄機を使用する。	○
	②冬場の水道管凍結による破裂を防止する為、毛布を巻くなどの対応をする。 極寒時には、水道を少量流すなどの漏水防止に努める。	×
	③漏水の早期発見の為、夏場は2週間に1回、冬場は1週間に1回の漏水点検を実施する。	○
	④水の出っぱなしをしない。	○
	⑤蛇口・ストッパーなど設備不良のチェックや取替を適時行う。	○
	【評価と次年度の取組み】 1月の冬季休業中に水道管の凍結による破裂が起これ、漏水が発生し使用量増加につながった。布は巻いて対処していたが凍結してしまった。次年度は凍結防止対策を施す予定。	
○事業所からの廃棄物排出量の削減		
取組み項目	取組み内容	評価
3Rの推進	①可燃・不燃・ビンカン・ペットの分別の徹底	○
	②プラスチック類の分別	○
	③紙類の分別（上質紙・雑紙・新聞・シュレッダー）	○
	④社内コピーは裏紙を活用し、社内文書はできるだけ電子メールや社内SNSツールを利用する。	○
	⑤ファクシミリ受信時、パソコン画面で確認し必要なものだけ印刷する。	○
	⑥新人研修時に、マイバッグ・マイ箸・水筒持参などの推奨、外からゴミを持ち込まない等、3Rの徹底をする。	○
○資源の有効活用		
取組み項目	取組み内容	評価
資源の有効的な活用	①お客様より買い取りをした段ボール圧縮ブロックを有価物置き場の仕切りとして活用する。	○
	②お客様より買い取りをした鉄製コンテナを保管BOXとして活用する。	○
○リサイクル率の向上		
取組み項目	取組み内容	評価
効率的な再資源化	①圧縮・破碎・選別の中間処理において、付加価値を高めた再資源化に努める。	○
	②排出事業者に対し、再資源化に必要な廃棄物の保管方法等の提案を行う。	○
	③破碎機・圧縮機等メンテナンスの徹底 破碎機の刃の交換により、負荷の少ないより効率的な稼働でリサイクル率の向上に努める。	○
	④排出事業所に対して、行政からの資料等を配布し分別の徹底をお願いする事により、単純焼却の量を減らし、再資源化の量を増やすよう努める。	○
	【評価と次年度の取組み】 安定型埋立のガラス陶磁器屑が前年に比べ300 t 増加したためリサイクル率は目標達成とはならなかった。次年度はフラフ燃料製造機の導入により再生プラの取扱量が増えることが予想され、リサイクル率の向上が期待できる。	

\*評価『○』の項目に関しては、次年度も引き続き取り組みを継続する。

# 教育・研修実施計画及び実績記録

分類	講習会・研修会・勉強会	対象グループ	具体的内容	予定	実施日
1 環境教育関係	車両運行前点検等研修会	一般廃棄物収集運搬グループ 産業廃棄物収集運搬グループ	1.点検の重要ポイント	随時	随時
			2.故障時の対処方法		
	エコドライブ研修会		外部より講師を招いての勉強会	1月	リモート
	タイヤ点検講習会		安全且つ、環境に配慮したタイヤ選び、タイヤ点検法を学ぶ	6月	リモート
	重機運転・メンテナンス研修会		環境及び安全運転上の注意事項と安全衛生法について学ぶ	6月.10月	4月16日
	安全運転講習会		外部より講師を招き危険運転防止について学ぶ	7月	5月21日
	リスクアセスメント会議		起こりうるリスクを想定し、対処方を考え共有・実行する	年4回	4.7.10.1月
	産業廃棄物処理実務者研修会	産廃の取扱いの実務に必要な知識の習得	10月	10月26日	
2 環境上の緊急事態の訓練等関係	消防訓練	全グループ	緊急事態を想定し、実際に沿った訓練を行う	1月	*翌3月
	廃油・排水・汚水流出を想定した訓練	一般廃棄物収集運搬グループ 産業廃棄物収集運搬グループ		2月	2月18日
3 外部からの苦情等関係	社内勉強会	全グループ	苦情等が発生した場合、随時 各グループにてその原因と是正を話し合う	随時	随時
	グループ長会議	各グループ長	各グループからの吸い上げを基に、協議・報告	随時	随時
4 環境関連法規関係	廃棄物適正処理講習会	全グループ	「廃棄物の処理と方法」「指導要綱」をテキストに用い、勉強会を行う	入社時	随時
			1.処分と収集運搬の許可基準		
			2.排出事業者責任について		
			3.契約書について		
			4.県や環境省からの通達事項の確認		
			5.リサイクル率向上について		
6.その他（SDG'sについて）	6.11月	6月8日			
5 問題の是正処置及び予防 処置関係	社内勉強会	全グループ	問題が発生した場合、随時 各グループにてその原因と是正を話し合う	随時	随時
	グループ長会議	各グループ長	定期的なミーティングにより、気づきを挙げ、解決していく		
	グループ長会議	各グループ長	各グループからの吸い上げを基に、協議・審議・報告を行う	随時	随時

\*消防訓練が日程の調整がつかず年度内にできなかったため、次年度早々に繰り越した。





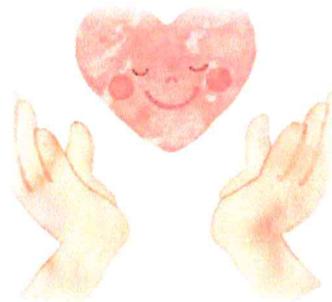
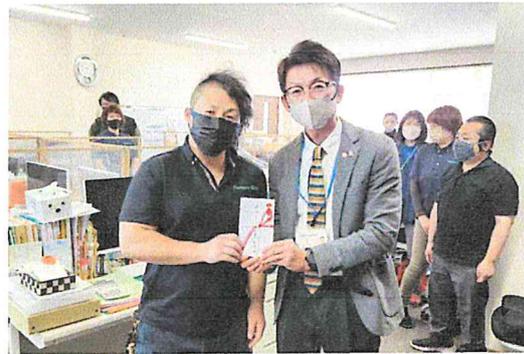
### ◆『優しい気持ち』を届けてきました！

今年もシンママ熊本応援団様(写真左)、プレジャーワーク様(写真右)へ排出事業者様からお預かりしているマニフェスト伝票発行代金より捻出した『優しい気持ち』を届けてまいりました。

2022.9.27 シンママ熊本応援団様にはお米 150Kgをお届けし、登録数 73 のシンママ世帯に配っていただきました。

弊社が施設外就労で業務委託をしている就労継続支援 A 型事業所プレジャーワーク様へは寄付金としてお届けしました。

プレジャーワーク利用者様のさまざまな活動支援に使っていただいています。





◆2023. 2 護川小学校 PTA 会長より、1 年間の安全誘導のお礼にお茶の差し入れをいただきました

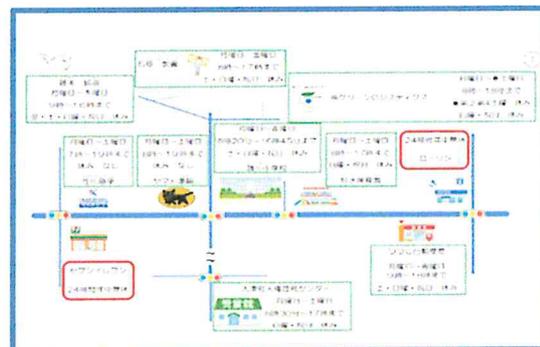


22 年 4 月に大津町がおこなっている「元気大津づくり活動事業」に団体登録しました。これは町民が町の美化や地域安全活動などを自発的に無報酬で行う活動で、その活動実績に応じて水水ポイントがもらえます。私たちは事業所なので有志による非営利団体『グリーンファイバーズ』を結成し安全誘導（旗振り）活動を行いました。1 年間の活動でいただける水水ポイントは助成金に変えさせていただき、また地域に還元していくというサイクルを作っていきます。

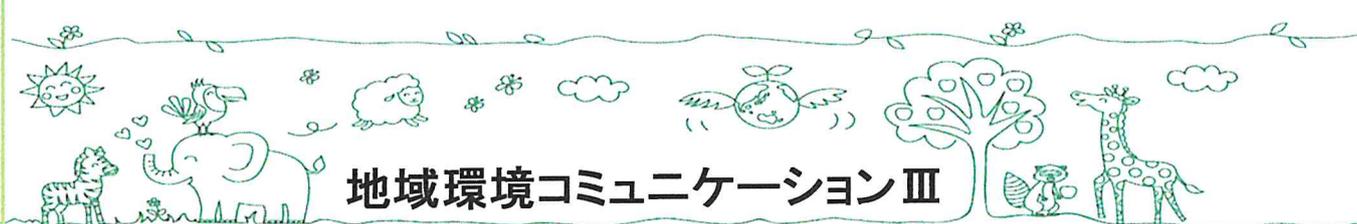
『グリーン fivers』…Sugimizu/Smile/Safety/Sustainable/Save

杉水地区の笑顔と安全を持続して守ります！！

◆もりかわコミュニティースクールに参加しました



学校教育プログラムについての意見交換会が今年度も 3 回行われました。地域と学校と企業一つになり学校運営に携わることで子ども達の豊かな成長を支えることを目的としています。その中で子ども達が安全に過ごせるように「子ども 110 番の家」に登録しました。



## 地域環境コミュニケーションⅢ



### ◆2022.4 大津町の幼稚園・小中学校の校長会に参加しました



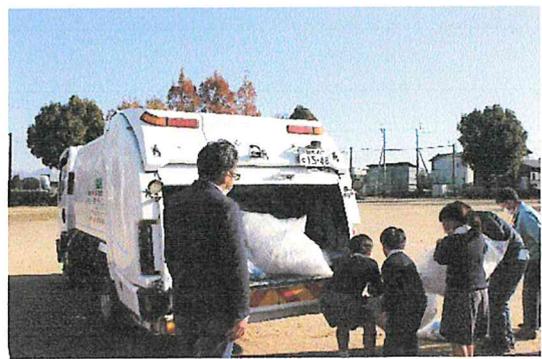
小さいころからの環境教育の重要性を感じ、大津町内の小中学校で環境出前講座を受け入れてもらえるように、大津町教育課様を通して校長会に参加させていただきました。

### ◆熊本県産業資源循環協会青年部による環境出前講座に講師として参加しました

9.8 山鹿市立山鹿小学校／10.17 大津町立大津小学校／12.15 大津町立護川小学校

前年度まではコロナの影響でリモート形式での実施となっていましたが、今年度は子どもたちと対面で授業をすることができました。

県内の不法投棄の現状を写真を用いて知ってもらったり、自分たちが暮らす町から出るごみの量や分別の大切さについて学んでもらいました。子ども達には、実際のごみを使って、分別作業やパッカー車への積み込みなども体験してもらいました。





◆情報発信していきます

●2022. 11 よりInstagramを開設しました！

弊社にも若い社員が増え、新たな情報発信ツールの利用を始めました。

社内の様子や営業日のお知らせなどを発信しています。

写真は勤労感謝の日に保育園の園児たちからいただいたカレンダーのお礼に、女子社員が手作りしたカードと就労支援施設すまいる様に作っていただいたクッキーを届けた件をアップしています。



@GREEN\_LOGI0743

●『グリロジ通信』発行しています

月に1度社員向けに発行している社内報です。

社員の誕生日や社内で起きた出来事、健康に関する情報やさまざまなお知らせなどを載せています。

時には社員教育などにも活用しています。





## 環境関連法規等の遵守状況 I

### ◆該当する主な環境関連法規・条例

分類	法令名	適用事項	遵守
廃棄物	廃棄物処理法	排出事業者責任 廃棄物の適正処理 マニフェスト伝票の適正使用	○ ○ ○
	熊本県産業廃棄物指導要綱	マニフェスト伝票の適正使用 交付状況報告書	○ ○
公害	環境基本法	廃棄物の適正処理 リサイクル率向上	○ ○
	大気汚染防止法	収集車両走行時のCO2排出量削減	○
	水質汚濁防止法	洗車場排水溝の清掃	○
	悪臭防止法	毎日の運搬車両洗車	○
	騒音規制法	エコドライブ	○
	振動規制法	エコドライブ	○
	熊本県生活環境の保全等に関する条例	法令順守	○
リサイクル	プラスチック資源循環法	排出事業者様への分別協力依頼	○
	容器包装リサイクル法	顧客への分別の提案	○
	家電リサイクル法	家電リサイクル券の適正使用	○
	資源有効利用促進法	廃棄物の適正処理	○
環境	地球温暖化対策推進法	CO2排出抑制	○
	循環型社会形成推進基本法	リサイクル率向上	○
	熊本県環境基本条例	法令順守	○
	フロン排出抑制法	天井はめこみエアコンの点検	○
他	消防法	消防訓練・消火器の点検	○

### ◆条例・要綱

重大なクレーム等はなかった。

### ◆要求事項(クレーム)

違反及び訴訟はなかった。



## 代表者による全体評価と見直し

### ◆環境経営方針

変更ありません。

### ◆環境マネジメントシステム

SDGs の取組事項を柱とし、働きやすい良い環境作り、リサイクル率の向上に取り組んでまいります。

### ◆環境経営目標・環境経営活動計画及び取組結果の実績と評価

環境目標の実績と結果及び環境活動計画は、環境経営活動レポートに記載の通りです。

2022 年度は水光熱使用量が目標達成には至りませんでした。売上に対する使用量で見ると前年度より削減はできています。今年度は埋立で最終処分される廃棄物の受入量がかなり増加し、リサイクル率の目標が達成できなかったため、水光熱使用量とともに目標値の見直しを行います。

### ◆次年度の見直し

1. 年々取扱量が増加しつつある廃プラスチックへの対応として、フラフ燃料製造機の設置を予定しています。これにより、廃プラスチックのリサイクル率の向上が見込まれます。
2. 新しいショベルローダーの購入を予定しています。燃費、作業効率の向上がはかれます。
3. 工場横に施設事務所の建設を予定しています。お持ち込みのお客様へのサービス向上につながります。
4. 施設事務所横に女子トイレの設置、施設事務所 2 階に新たな休憩所、新しい社員駐車場の整備を予定しており、働く環境の改善を目指します。
5. 会社まわりの道路幅を拡張します。大型車両のスムーズな搬入が可能となります。
6. 収集運搬車両全車にドライブレコーダーを設置します。エコドライブや安全運転の推進をはかるとともに、事故時の正確な状況把握ができます。
7. 現場の希望する社員に空調付ベストを支給、女子社員(事務員)の制服を自分達で選んでもらい支給します。また、給与アップ、休日を増やすなど福利厚生の充実につとめていきます。
8. 10 月から始まるインボイス制度に対応するため、経理ソフトの入れ替えを予定しています。これにより事務作業の効率化がはかれ、残業時間の削減につながります。
9. 事務所玄関に植栽を施し、社内の緑化をはかります。
10. 環境管理責任者が変更になります。

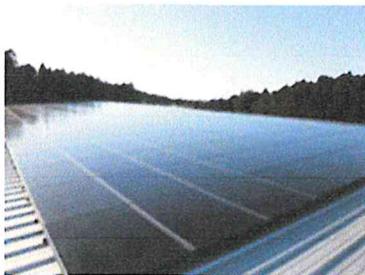
2023 年 6 月 1 日

株式会社グリーンロジスティクス  
代表取締役 岩崎 浩

## これまでの取組 I

### ◆事業の履歴

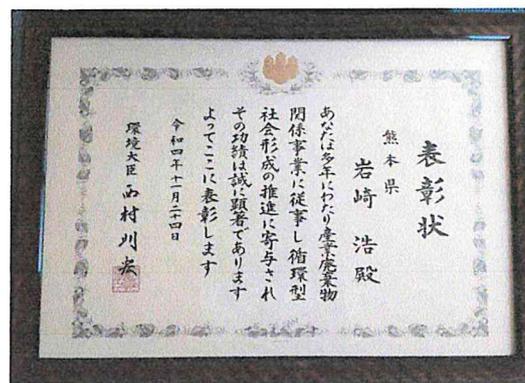
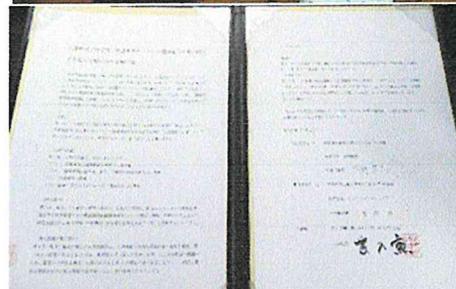
- ・1993年 熊本県・熊本市産業廃棄物収集運搬業の許可を取得
- ・2001年 新社屋及び選別・保管施設を建設
- ・2004年 熊本県産業廃棄物処分業許可(選別)を取得  
産業廃棄物の選別施設建設開設・稼働
- ・2006年 エコアクション 21 認証を取得
- ・2008年～2017年 関連会社(有)百式にてバイオディーゼル燃料の精製事業を行う
- ・2010年 産業廃棄物の破碎及び圧縮・梱包施設を増設  
混合廃棄物の選別ライン新設
- ・2013年 熊本県より優良産廃業者の認定を受ける
- ・2014年 太陽光発電システム(84kw)を設置し、発電事業開始
- ・2015年 発泡スチロール減容機を増設
- ・2017年 産業廃棄物の選別施設を移設拡張及び破碎施設の増
- ・2018年 大津町の一般廃棄物処分業を取得
- ・2019年 水銀使用製品産業廃棄物及び石綿含有産業廃棄物の積替え保管施設の  
許可を取得  
スーパージョウの導入
- ・2020年 最終処分先までの輸送のため大型車両を購入
- ・2020年 低燃費・低騒音の環境基準適合のクランプリフト、ユンボを購入
- ・2022年 二軸破碎機の刃の交換  
低燃費・低騒音のミニショベルを購入



## これまでの取組Ⅱ

### ◆行政及び環境団体との連携

- ・環境ボランティアグループ 4R 白川が行っている、小学校を回収場所とした集団回収と子ども達への環境教育への参加
- ・大津町の団地内指定場所に廃油回収 BOX を設置し、月 1 回の回収を行った
- ・大津町女性の会「菜の花コンサート」への参加
- ・「からいもフェスタ」に参加
- ・「菜の花パトロール」などのボランティア活動で得た地域通貨「水水」を町指定のごみ袋に替えて、小学校や地元杉上区へ寄贈
- ・2021 年 7 月 大津町及び同業者と 3 者による相互支援協定を締結
- ・2022 年 11 月 環境大臣表彰を受賞





## これまでの取組Ⅲ

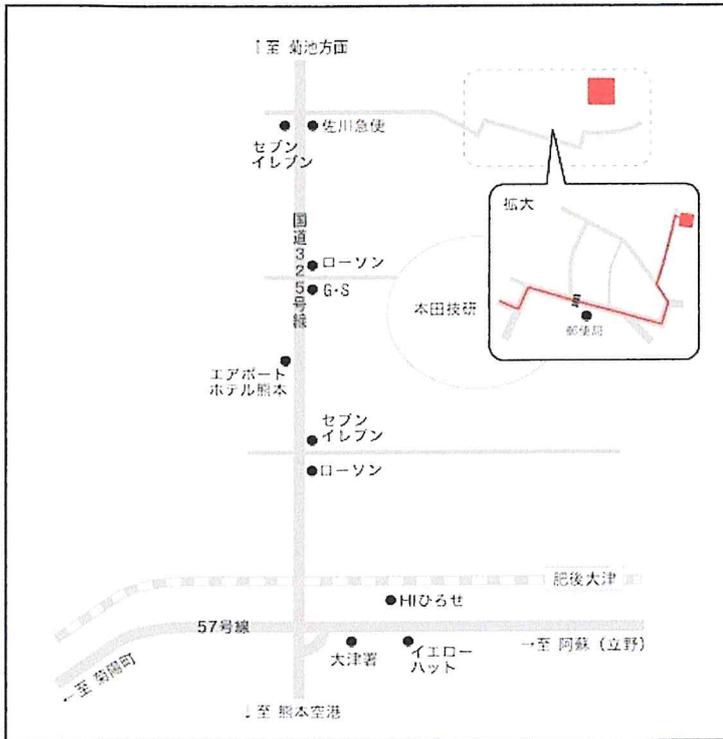
### ◆地域環境コミュニケーション

- ・地域のスクールゾーンで登校時の交通安全誘導とバイオディーゼル燃料を活用した菜の花パトロール
- ・地域家庭の不燃物等をボランティアで引き取り
- ・近隣小学校との環境学習会
- ・近隣小学校と地域に地域通貨の寄贈
- ・大津町の障がい者就労支援施設様より見学の受け入れ
- ・近隣小学校の登校時安全誘導(旗振り)活動
- ・近隣小学校へ地域見守りジャンパーの寄贈





(株)グリーンロジスティクス  
e-style camp



〒869-1236

熊本県菊池郡大津町杉水 2506

TEL 096(293)0743 FAX 096(293)0747